

副専攻名 国際学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

グローバル化が進む国際政治、国際経済、国際社会の一般的な仕組みを学ぶとともに、国際コミュニケーションや異文化理解についても学び、国際社会に対する広角度の理解力を身につけることを目標とする20単位以上を選択履修すること

副専攻の学習成果

自己の専攻分野に加えて、国際社会に関する基礎的な知識と理解を得ることで、国際的業務に関わる際により効果的な役割を果たすことができるようになると期待される

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1	
				前期	後期
16201	国際学入門1	国際学とはどのような理念、内容を持つかを学ぶ	1		
16401	国際学入門2		1		
16257	国際政治史1	近現代(戦前まで)の日本外交を中心に学ぶ	2		
16457	国際政治史2		2		
16256	国際関係論1	国際関係論の基礎となる概念や理論を学ぶ	2		
16456	国際関係論2		2		
16049	国際コミュニケーション論	国際政治におけるマスメディアの役割、影響等	2		
16206	国際経済学1	国際経済に関する理論と実態の分析等を学ぶ	2		
16406	国際経済学2		2		
16208	国際貿易論1	国際貿易の意義、実態、実務等を学ぶ	2		
16408	国際貿易論2		2		
16209	国際協力論1	発展途上国へのODAの意義、実態等を学ぶ	2		
16409	国際協力論2		2		
16210 (10019 ※2)	異文化理解1	世界各地の文化(日本を含む)への理解を深める	1		
16410 (10020 ※2)	異文化理解2		1		
51001	国際金融論A	国際金融制度の基礎的な構造を理解する	3~4		
51002	国際金融論B	国際金融システムの史的変遷と現状を理解する	3~4		
16041	国際公共経済論A	国際政治経済秩序の形成と変容や、その理論等	2		
16042	国際公共経済論B	国際法、国際機構、対途上国援助の概要を学ぶ	2		
52017	比較文化論1E	日本と欧米の文化的相違等について英語で学ぶ	3~4		
52517	比較文化論2E		3~4		
52018	多文化主義論1E	複数言語を公用語としている諸国の実態等を学ぶ	3~4		
52518	多文化主義論2E		3~4		

副専攻名 国際学					
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)					
グローバル化が進む国際政治、国際経済、国際社会の一般的な仕組みを学ぶとともに、国際コミュニケーションや異文化理解についても学び、国際社会に対する広角度の理解力を身につけることを目標とする20単位以上を選択履修すること					
副専攻の学習成果					
自己の専攻分野に加えて、国際社会に関する基礎的な知識と理解を得ることで、国際的業務に関わる際により効果的な役割を果たすことができるようになると期待される					
副専攻を構成する科目					
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1	
				前期	後期
52019	比較政治学1E	比較政治の理論と民主主義国の特徴を英語で学ぶ	3～4		
52519	比較政治学2E		3～4		
51010	世界地誌A	発展途上国における開発の在り方の問題点等を学ぶ	2～4		
51011	世界地誌B	発展途上国におけるあるべき開発像をさぐる	2～4		
16243	国際機構論1	今日の世界における国際機構の役割を理解する 国際機構の諸相を理解する	2		
16443	国際機構論2		2		
16258	国際機構論1E		2		
16458	国際機構論2E		2		
52020	国際社会論特論1	中東地域がなぜ国際関係において重要なのか、多くの戦争や紛争がなぜ起こり、現在にも影響を及ぼしているのかを理解する。	2～4		
52520	国際社会論特論2		2～4		

※1 開講期は、Webシラバスでご確認ください。

※2 学域GS科目として履修する場合の科目番号